自主的環境保全活動の取り組み状況

（事業所名）大阪豆陽金属工業㈱ 夢前工場

1　環境保全活動に関する方針等

１－１　環境保全活動に関する方針

当事業所ではＩＳＯ14001：2004、ＪＩＳ　Ｑ　14001：2004を取得し、環境保全活動については、環境マニュアルのなかで、「環境方針」において宣言しています。

地球環境の保全の重要性を認識しながら、国民生活及び産業活動に不可欠な基礎材料である、アルミの地金供給とアルミ資源再利用のリサイクルを通じて社会への貢献を目指しています。

環境目的、目標を定め、実施し定期的な見直しを実施します。

全従業員が環境方針を理解し環境に関する意識向上のため、環境に関する教育、啓蒙を行います。

環境関連法律・規制・協定、同意するその他要求事項を順守します。

地域の環境保全に努め、地域社会との調和に努めます。

公表の方法は、社内へは環境方針の複写を各部署に表示します。

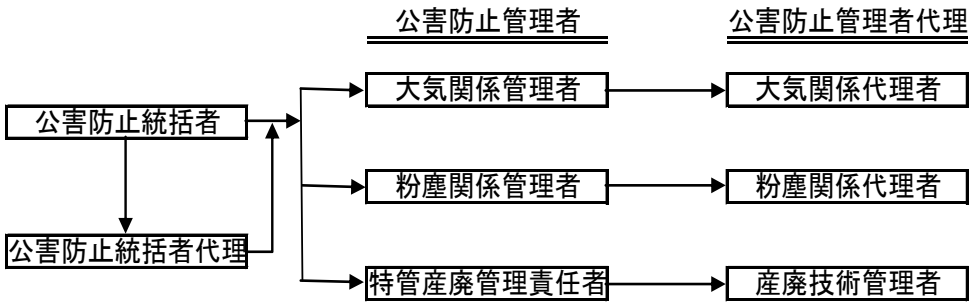
社外には毎年、地元自治会との公害委員会での報告を行っており、他より開示を求められた場合は公害委員会報告書を管理事務局が複写物を配布します。

１－２　環境保全活動に関する組織体制

公害防止管理組織をもって、環境保全活動に関する組織体制としている。

連絡体制については、ＩＳＯ１４００１環境マニュアル等において
内部・外部・緊急/異常事態発生時報告ルートを明示している。

公害防止管理組織系統図



2　環境保全活動の実施状況等

項　目	取組結果	今後の取組計画
環境コミュニケーション	地元自治会との環境情報の公開の公害委員会報告会議を H26 年 6 月 8 日に実施 定例データ及び川の水質検査データの地元自治会への提供。	27 年度は 6 月に予定。
地球温暖化対策	燃料を重油から LNG に全部変更。 溶解炉の補修。	燃料使用量の更なる低減。
3Rの推進	工場内のすべての自販機にアルミ缶専用ゴミ箱を設置している。	実施中。
設備保全	コンプレッサー更新、集塵機の改善 燃料送油パイプの更新。	集塵機の老朽化防止
その他	自治会の土壌の検査、玄米若しくは麦の検査。 土壌 5 箇所。玄米 9 検体	27 年度は 9 月に予定。
環境マネジメントシステム	ＩＳＯの更新審査。 内部監査の実施。	環境方針に基づくＩＳＯ活動の推進 内部監査の充実